

第1回 東京都AI戦略会議

令和6年12月5日

東京都 デジタルサービス局

本日の流れ

01 開会 P.3

- ・ 各委員ご紹介、ご挨拶
- ・ 宮坂副知事挨拶

02 討議 P.7

- ① 都が考えているAI戦略会議の5つのテーマ
- ② 都の現在の取組

03 閉会 P.14

- ・ 今後のスケジュール

各委員ご紹介、ご挨拶

委員

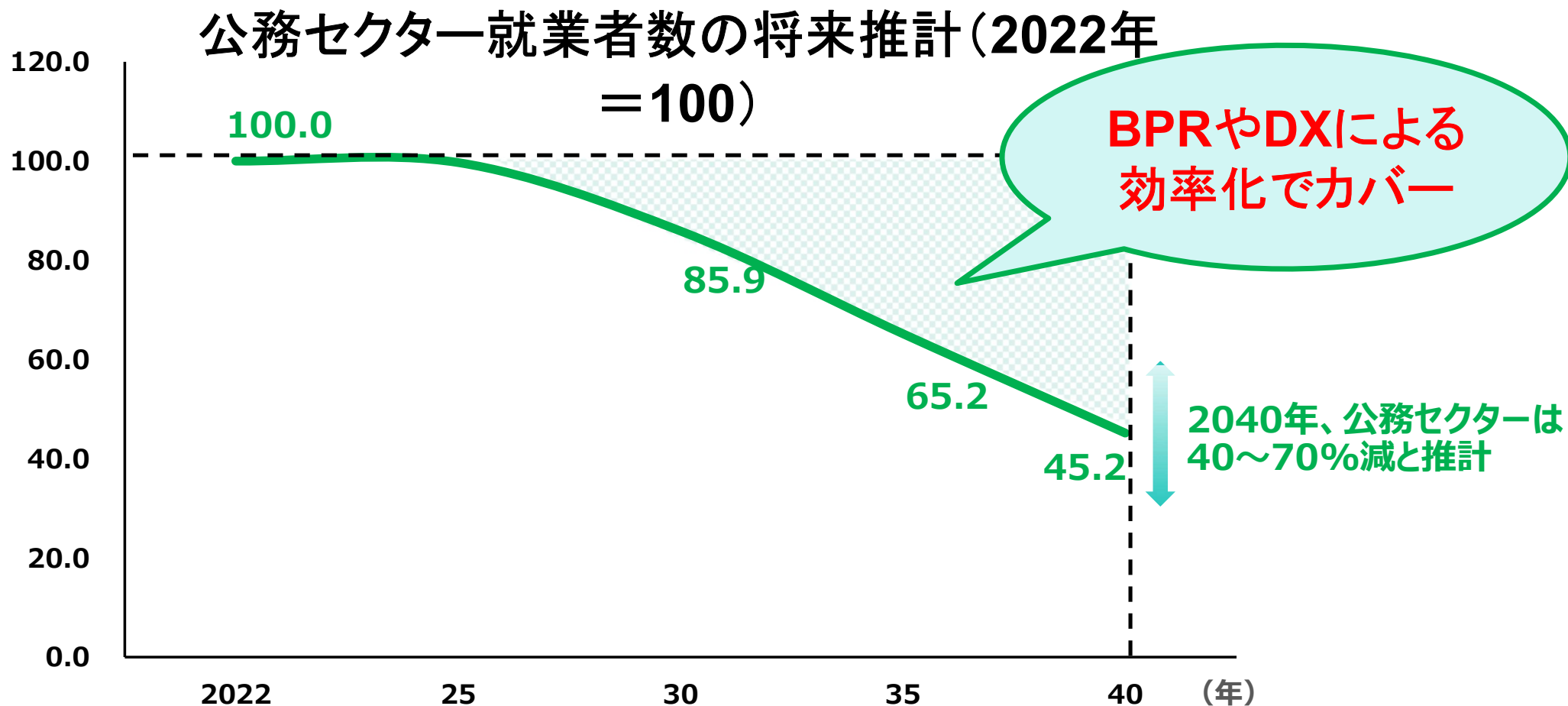
氏 名	役 職 等
松尾 豊氏	東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授
安野貴博氏	合同会社機械経営 代表
石角友愛氏	・パロアルトインサイトCEO ・一般社団法人人工知能学会理事
伊藤 錬氏	Sakana AI株式会社共同創業者 COO
江間有沙氏	・東京大学国際高等研究所東京カレッジ准教授 ・理化学研究所 革新知能統合研究センター 客員研究員
岡田 淳氏	森・濱田松本法律事務所弁護士
村上明子氏	損害保険ジャパン株式会社 執行役員・最高データ責任者

東京都・GovTech東京

氏 名	役 職 等
宮坂 学	東京都副知事・CIO、GovTech東京理事長
山田 忠輝	東京都デジタルサービス局長
井原 正博	GovTech東京業務執行理事・CTO

宮坂副知事 挨拶

公務員人口の減少をBPRやDXでカバー



※ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「2023年度版 労働力需給の推計(速報)」により作成
数値は「公務・複合サービス・分類不能の産業」の計

25年後、みんなは何してる？東京はどうなっている？

未来の東京への アイデア募集中！

アニメのまちに！

AIも家族の一員になる？

起業があたりまえに？

世界一のグルメ都市に！

あんの たかひろ

【アドバイザー】AIエンジニア・安野貴博氏



東京都では、新たな長期戦略「**シン東京2050**」の検討にあたり、みなさまのアイデアを募集中！東京都が目指す「3つのシティ」も参考にして、「**25年後の東京は、こうなってほしい**」「**自分ならこう変えたい**」など、右のQRコードからコメントを入力してください。

募集締切：2024年12月13日（金）まで

シン東京2050



都が考えている AI戦略会議の5つのテーマ

都が考えているAI戦略会議の5つのテーマ

01



行政活用の
ジャパンモデル

業務効率化・サービスの質向上等、
自治体に共通する課題をAIで解決し、
日本全体に貢献する

02



AIを **「つくる力」**

国と役割分担しつつ、
AI産業、大学等基礎研究、
データセンター等に都として貢献する

03



AIを **「つかう力」**

進化を続けるAIの可能性を見据え、医療・
教育・交通・審査業務等、**行政での活用が**
効果的な分野の**サービスの革新**を目指す

04



AIで **「聴く力」**

生成AIの特性を最大限発揮した行政のフロント
サービス、デジタル広聴の仕組みを充実させ、
都民との**コミュニケーションを高度化**する

05



責任あるAI

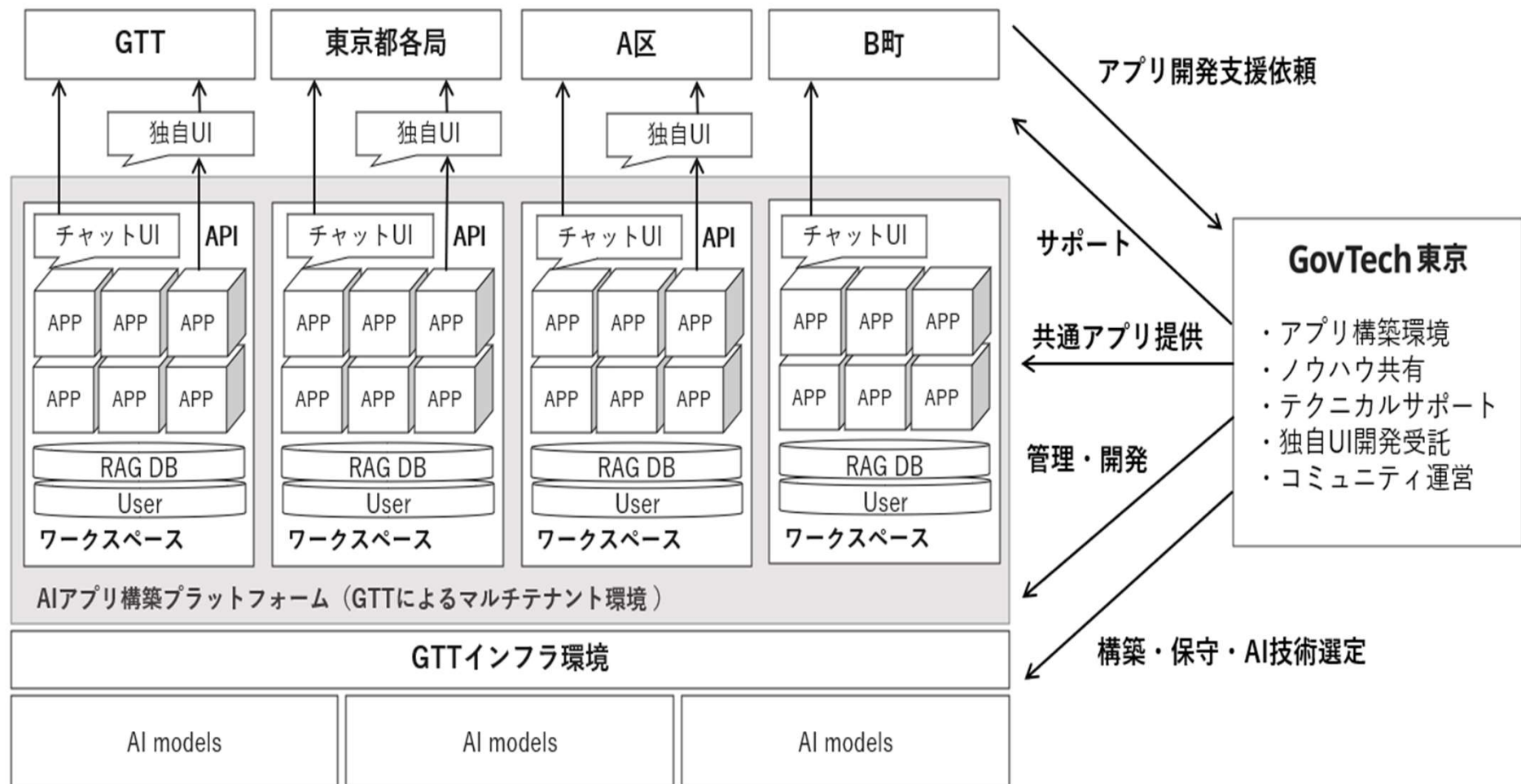
住民の信頼と安心を得られる
AI活用に向け、自治体における
AIガバナンス、**ルールを確立**する

都の現在の取組

都の取組 ①

✓ GovTech東京がオール東京での活用を目指し、生成AIプラットフォームを構築

《プラットフォームのイメージ図》



RAGを用いた都庁内業務における生成AI活用

《今年度の取組》

- 「財務会計システム」操作に関する職員問合せ対応
- 組織定数検討資料作成補助
- 消防官の施設立入検査業務の支援

《今後の取組例》

- 助成金申請の一次審査支援
- 契約仕様書作成の支援
- 定例的な刊行物の校正支援
- 議会関係事務の支援
- 規程類の強化検索
- 都民提案の一次審査支援

都の取組 ②

- ✓ 「AIの司令塔機能」（デジタルサービス局・GovTech東京が協働）
- ✓ デジタルサービス局が全庁のAI関連の取組について**ガバナンスを発揮**
- ✓ 以下の方向で、GovTech東京とともに、**共通化、内製開発・実装**を実施

AIツールの共通化

複数局にまたがるAIツールについてデジ局で一括調達

内製開発・実装

GovTech東京が自ら構築する
生成AIプラットフォームの活用

- ・ 優先順位の高い全庁共通業務から**業務アプリケーションを内製**
- ・ 各局で開発中のものについても、**プラットフォームに順次統合**

技術サポート

各局独自のシステムに組み込まれたAIについて技術サポート

都庁AI活用・開発4原則（案）

原則1 デジタルサービス局が全庁の取組を統括する

- ・デジタルサービス局が**全庁のAI活用・開発の取組**を統括
- ・各局が事業等を登録し、デジタルサービス局が**企画段階から関与、全庁の整合性を確保**

原則2 AIツールは全庁で共通のものを活用する

- ・各局共通業務に既存AIツールを活用する場合は、デジタルサービス局で**製品を選定・一括調達し提供**

原則3 アプリケーションは全庁展開を前提に開発する

- ・各局で業務アプリを開発する場合、**全庁での共通化を見据えた仕様**で開発
特定製品への依存は可能な限り回避
- ・GovTech東京が構築した**生成AIプラットフォーム**を活用した内製を基本
- ・都が内製開発する業務アプリケーションの**著作権は都が保有**
外部委託を活用する開発においても、契約により都が保有する著作権を明確化
- ・都開発の業務アプリケーションは、**都庁グループや他自治体への提供**を目指す

原則4 AIガバナンス・ルールを徹底する

- ・「責任あるAI」の観点から、**全庁ルール等を整備**し、ガバナンスを確保
- ・AIが学習・参照するデータの取扱いには、**個人情報保護・アンコンシャスバイアス等に十分配慮**

今後のスケジュール

今後のスケジュール

12月5日 戦略会議の開催（第1回） オンライン



1月中 論点整理、各委員への共有



2月上旬
(予定) 戦略会議の開催（第2回）

- ✓ 「AI戦略に向けた論点整理」の公表に向けた議論
- ✓ R7年度夏頃の策定に向けた議論開始



2月中旬
(予定) AI戦略に向けた論点整理の公表



R7年度夏頃を目途に「東京都AI戦略」を策定・公表

※ 会議を随時開催し、ご意見を聴取（予定）